

平成26年10月

東京藝術大学 大学改革・機能強化推進戦略

～ “世界の頂” へと飛躍するための新たな挑戦 ～

東京藝術大学は、創設時から120余年に亘り、我が国の芸術文化の継承・発展に寄与することはもとより、国際社会を指向した教育研究を展開し、国際舞台で活躍する数多の芸術家を育成してきたが、これまでの取組・活動は、“個の力”によるものが中心であり、近年加速化するグローバル化時代における芸術文化の振興・発展を牽引し推進していくには、“組織”としての総合力を活かした、新たな展開が必要不可欠である。

本戦略は、国内はもとよりアジアにおいて確固たる地位にある本学が、更なる高み、国際プレゼンス向上を目指し、学生及び教職員、さらには卒業生等関係者を含めた、“オール藝大”体制の下、不退転の覚悟で、グローバル化を中心とした大胆な大学改革・機能強化を断行するものであり、長きに亘り培ってきた国際的な強み・特色を武器に、世界を相手に伍して競い、凌駕・超越して、“世界の最高峰”への飛躍を目指すものである。

具体的には、文部科学省「国立大学改革プラン」が掲げる目標や、我が国唯一の国立総合芸術大学としてのミッション、固有の強み・特色を踏まえ、自国の伝統的な芸術文化の継承・振興をはじめ、芸術文化力を活かした地方創生や国際貢献、若手芸術家の顕彰・継続的育成等に的確に対応しつつ、アジアの芸術系大学のフラグシップとして、国際水準の人材育成プログラムや教育研究を実践することにより、世界トップレベルのアーティストを育成するとともに、我が国固有の新たな芸術価値の創造・国際発信を推進していく。

さらに、芸術文化政策や産業競争力強化等、国家戦略実行のフロントランナーとして、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に、我が国の芸術文化の振興・発展・グローバル化を力強く牽引すべく、我が国屈指の文化施設の集積“上野の杜”や国内外の芸術系大学・産業界等との連携基盤を活かし、国際的な芸術文化・教育研究拠点を形成することにより、“藝大”のブランド力を向上させるとともに、“文化芸術立国”としての地位の確立に資する。

以下、大学改革・機能強化推進のための戦略・アクションプランを示す。

1. 世界の最高峰の“GEIDAI”へと飛躍すべく、“オール藝大”体制の構築と国内外の芸術系大学等関係機関との連携強化により、世界最高水準の教育研究活動を展開する。

- 全学一体的・分野横断型の教育研究活動を推進するため、教育組織と研究組織を分離して、新たな研究（教員）組織“芸術研究院”を新設し、これを基盤として“学内資源の再配分・最適化”を実行し、社会のニーズに的確に対応した新たな教育研究組織編成等に繋げる。
- “海外一線級アーティストユニット誘致”により、世界最高水準の教育研究体制を確立し、飛び入学等早期教育の導入をはじめ、少人数教育の充実や大学院実践型プログラムの強化、国際通用性を踏まえた厳格な学位審査の実施等、世界トップレベルの人材育成プログラムを構築・実行することにより、国際舞台で活躍できる卓越した芸術家の育成を推進する。
- 海外一流芸術系大学との連携基盤をさらに発展させて、交換留学の拡充や国際共同カリキュラム構築を目指すとともに、本学をはじめとする世界の芸術系大学の国際プレゼンス向上のための先導的なブランディングシステムを、国内外の芸術系大学等との連携・共同により構築する。

2. 藝大が誇る教職員や学生、卒業生等の“人財力”や“藝大力”を活かし、我が国の芸術文化の振興・発展や国際展開、国際競争力強化等の国家戦略を牽引する。

- “上野の杜”はもとより、日本全域、さらには海外へと教育研究活動の場をボーダーレスに進展させ、大学の教育研究活動として一体的に行う社会的・国際的な芸術実践活動“グローバルアートプラクティス”を展開するとともに、活動成果を広く社会に還元する。
- 本学の有する傑出した教育研究力や、世界各国で活躍する本学卒業生等、これまで培ってきた国際的な連携・ネットワーク基盤をさらに発展させるとともに、“藝大力”を活かした国際社会に向けた“芸術教育輸出”を展開し、アジア諸国を中心とする人材育成や芸術文化振興・発展に寄与する。
- 本学の有する芸術文化力を基軸とした研究シーズを活かし、分野横断的な学際的研究を推進するとともに、“芸術と科学技術の融合”による革新的なイノベーション創出“アートイノベーション”を推進することにより、新たな産業創出や社会システム革新等を牽引する。

3. 学生はもとより、国内外から多くの人々が集い交流するパブリックな場として国際社会に対して広く開かれ、“ときめき”に満ち溢れる創造的なキャンパス環境を実現する。

- 図書館機能を飛躍的に発展させ、学外に広く開かれた公的存在としての機能・役割を一層強化させるため、“上野の杜”におけるグローバル人材育成、芸術文化リソース集積・情報発信、コンシェルジュ機能等を担う総合型中核拠点“国際芸術リソースセンター（IRCA）”を整備する。
- 大学美術館や奏楽堂をはじめとする本学固有の大学施設の機能をさらに高めるとともに、大学施設を利活用した教育研究・実践活動を、学外に向けて展開し、広く開放・還元していくことを通じて、国際社会に対する発信機能を一層強化する。
- 留学生や海外派遣学生に対する支援体制の充実・強化を図るとともに、新たに整備した“藝心寮”におけるアトリエや音楽練習室等、教育寮としての機能・環境や、混住型学生寮としての国際交流機能等を利活用することより、卓越したグローバル人材育成を総合的に推進する。

4. 学長の超強力なリーダーシップの下、一致団結して、大学運営基盤・ガバナンス機能を抜本的に強化し、持続可能型のマネジメントシステムを構築する。

- 学長の直下において、本学が有する学内資源を総括集し、政策動向や国際動向等を踏まえた大学運営戦略の企画・立案を担う“インテリジェンス機能・体制”の抜本的強化や、企画・立案された戦略の迅速且つ効果的な実行を担う“戦略的機構”の新設等、機動的・戦略的な大学運営を推進する。
- 他大学に先駆けて導入している“年俸制”・“ポイント制”を発展的・効果的に活用することにより、従来型の人事・給与システムを刷新し、国内外において第一線で活躍するアーティスト・クリエイター等卓越人材の獲得や、若手芸術家のポスト拡充等、国際水準を踏まえた教育研究体制の強化・充実を図る。
- 教育研究や社会実践、アウトリーチ等諸活動の実績・成果等に係る戦略的な情報発信・広報機能の抜本的強化を図ることにより、本学の国際プレゼンスを向上させるとともに、“藝大基金”をはじめ、受託事業等を通じた外部資金獲得をさらに推進し、安定的・継続的な運営基盤を確立する。

“藝大” 創造イニシアティブ ～ オンリーワンのグローバル戦略 ～

- ◆グローバル化が進展する中、芸術文化振興や産業競争力強化等に繋がる新たなフロンティア開拓の必要性から、世界に誇る日本の芸術文化力を活かしたグローバル戦略・人材育成が急務
- ◆我が国の芸術文化価値を高め、新たな創造や国際社会への発信・展開を担う、世界トップレベルの芸術家やマネジメント人材等の育成には、国内外の芸術文化リソース・知見の総結集が必要
- ◆我が国唯一の国立総合芸術大学として世界最高水準の教育研究を実践してきた強み・特色を活かし“オール藝大”体制の下、国内外関係機関とも連携して先導的・独創的戦略を実行
- ◆“藝大”が立地する“上野の杜”の芸術文化潜在力を活かし、2020年東京オリンピックを契機に、パリやロンドン等、世界的芸術文化都市に比肩する「国際芸術文化拠点“上野”」へ発展



◇◇◇ 10年後のビジョン (“文化芸術立国”の実現) ◇◇◇

- 育成人材が、傑出した芸術力や輝く感性、我国のアイデンティティを武器に先導的に活躍、芸術文化の創造・発信や国際貢献等“藝大”を発揮し、社会システムや産業構造等を革新
- 国際的見地から“藝大”の強み・特色を明確化して、グローバルスタンダードとしての“藝大”を国際社会に発信し、“世界の藝大”としてのプレゼンスを確立
- “藝大”の教員・学生等が“コンシェルジュ”となり、世界の人々と交流し、芸術文化価値 を発信する“国際芸術文化の発信拠点”を形成
- “藝大”“上野の杜”に世界最大のアートプラットフォームを構築して、文京区の学術文化力、秋葉原のポップカルチャー、東京駅、江戸城天守閣まで多様な文化資源を統合し、国際都市“東京”の芸術文化ネットワークを構築



“藝大”にしかできない “藝大” だからこそ可能な戦略の実行

- ◆ “藝大” は日本屈指の文化集積 “上野の杜” に立地、我国唯一の国立総合芸術大学として、世界最高水準の教育研究実績を有し、世界トップクラスの教育体制による実践型少人数教育等を通じて、傑出した芸術家等を育成・輩出
- ◆ 我が国の伝統的な芸術文化の継承・振興や、東アジアにおける文化財保存・人材育成等国際貢献において中核的役割を果たすとともに、映画・アニメーション等ポップカルチャーの推進、国際展開においても先駆的役割を果たすなど、アジアでは確固たる地位を築いている本学が、強み・特色を活かしたグローバル戦略を“オール藝大”体制により総力を結集し展開
- ◆ 東アジアにおける中核的機関としての役割を一層明確にしつつ、さらなる高みを目指し、国際交流実績・国際ネットワーク基盤を活かしたグローバル人材育成機能強化等を総合的に推進し、欧米の有力芸術大学をも凌駕する世界ブランド “藝大” へ飛躍

“藝大” にしか実現できない 独自の・先導的なグローバル戦略を実行

“ Integration ”

【統合・集積】

世界的にも稀な総合芸術大学として、本学が有する美術、音楽及び映像に係る世界水準の教育研究リソースを総結集し、分野横断的・複合的な「オール藝大」体制の下、複数分野を専攻する大学院「ダブルメジャープログラム」実施等、多角的・多面的アプローチによる新たな芸術文化価値「ジャパンブランド」を創造・発信

美術

音楽

映像

総 結 集

“オール藝大”体制による、分野横断的・複合的な新たな芸術文化価値を創出、大学院におけるダブルメジャープログラム等人材育成プログラムを革新

“ Collaboration ”

【共同・共演】

長きに亘り培ってきた海外一流芸術大学・関係機関との連携・ネットワーク基盤を活かした「海外一線級アーティストユニット誘致」及び「海外戦略拠点整備」、本学「芸術実践領域博士プログラム」強化、「ジョイントディグリー」等カリキュラム共同化による「グローバル人材育成機能強化」

海外芸術大学等関係機関

海外一線級
ユニット誘致

ジョイントディグリー等カリキュラム共同化・
博士プログラム充実によるグローバル
人材育成機能強化

海外戦略
拠点整備

藝 大

Quad Initiative

戦略実行に係る4つの先導力

“ Development ”

【展開・発展】

我が国屈指の文化集積 “上野の杜” のポテンシャル・連携基盤を活かし、上野の杜全体を **広域型キャンパス** として活用し、「アクティブラーニング」や「国際芸術祭」開催など教育研究成果のアウトリーチ実践・展開による「国際遊学都市」へ展開、2020年東京オリンピック開催を契機に、上野の杜を「国際的芸術文化都市」へ発展



“ Branding ”

【価値・プレゼンス向上】

未だ確立されていない世界の芸術系大学の国際指標、相対的な強み・特色を、本学が中核となり、世界の有力芸術系大学とも連携しつつ検証・分析して **グローバルスタンダード** を構築し、世界における本学の教育研究力等 **国際プレゼンス** の明確化や世界への発信により「**藝大ブランド**」を確立し、“上野の杜”の国際プレゼンスも併せて向上



国立大学等の機能強化を推進する改革構想（平成27年度からの取組）

世界水準の教育研究活動の飛躍的充実

東京芸術大学

ロンドン芸術大学、パリ国立高等音楽院等から世界一線級のアーティストユニットを誘致し、「**芸術研究院**」を設置。海外大学との国際共同カリキュラム構築等を通じて国際水準の芸術系人材育成を推進し、国際的芸術系教育研究拠点としての機能を強化

熊本大学

生命科学分野(発生医学、エイズ学)をけん引する**研究司令塔**として「**国際先端医学研究機構**」を設置。オックスフォード大学やシンガポール大学等から世界一線級の研究者を招へいし、感染領域や造血領域等で国際的に卓越した研究を推進

自然科学研究機構(大学共同利用機関法人)

天文学・生命科学をはじめとする異分野連携による**新分野創成を加速**するため、「**アストロバイオロジーセンター(仮称)**」を創設。プリンストン大学等から世界一線級の研究者を招へいし、国際的・先端的な共同利用・共同研究を推進

各分野における抜本的機能強化

帯広畜産大学

獣医・農畜産分野において、国際通用性を備えつつ、食の安全確保に資する教育課程及び**10社以上の食品関連企業等との連携**により即戦力人材を育成。新たに「**グローバルアグロメディシン研究センター**」を設置し、コーネル大学等から研究者を招へいし、国際共同研究を推進

東京外国語大学

日本研究・日本語教育に関する実績を踏まえ、新たに「**国際日本学研究院**」を設置。コロンビア大学、ロンドン大学等から世界トップレベルの研究者を招へいし、**国際的な日本研究を深化し、日本の発信力、国際的なプレゼンス向上に寄与**

お茶の水女子大学

国立女子大学ならではの重点研究領域として「**グローバル女性リーダー育成研究機構**」を設置。国内外から女性研究者を招へいし、女性のリーダーシップ育成と男女共同参画社会の実現に貢献する研究教育を通じて、**世界で活躍できる女性リーダーの育成機能を強化**

金沢大学

がん進展制御研究の実績等をいかし、全学的な研究司令塔機能を担う「**新学術創生研究機構**」を設置。カリフォルニア大学等から世界一線級の研究者を招へいし、**世界レベルの研究者・若手研究者・成績優秀な大学院生が共同して分野融合型プロジェクト研究を推進**

信州大学

「繊維・ファイバー工学」等の信州大学が強みとする5つの分野に学内資源を集中させ「**先鋭領域融合研究群**」を設置。MIT等から世界一線級の研究者を招へいし、国際教育研究拠点を目指すとともに**高度研究力と国際的実践力を有する理工系グローバル人材を育成**

浜松医科大学

「**光医学教育研究センター**」を設置し、光医学で一線級の研究者を招へいし、**光産業でイノベーション創出をけん引する地元企業等と連携した共同研究等により医療機器開発・実用化を推進**。光医学の素養を持った高度専門人材の輩出と地域産業の発展に寄与

和歌山大学

観光学分野で世界トップクラスのサリー大学等との連携実績をいかした「**国際観光学センター**」を設置し、世界一線級の外国人研究者を招へいし、**我が国初の国連世界観光機関の観光教育・訓練・研究機関認定(tedQual)の取得等を通じ、アジアにおける観光研究ハブを形成**

鳥取大学

乾燥地科学の研究実績を踏まえ、「**国際乾燥地域教育研究機構**」を設置。世界トップクラスの海外大学等から研究者を招へいし、**農学・社会科学・医学系等の研究者とともに国際共同研究を推進**。研究成果を活かした国際乾燥地域科学の大学院設置を構想

山口大学

山口県内の自治体や企業等との連携を重視した課題解決型プロジェクトを実践する「**国際総合科学部(仮称)**」を設置。地域ニーズに対応した各専門領域(防災、観光、農業等)からのアプローチによる全学的な課題解決型学習を通じて**地域の発展に資する人材を育成**

国立大学等の機能強化を推進する改革構想（平成26年度からの取組）

世界水準の教育研究活動の飛躍的充実

北海道大学

北海道大学の強みを集約した総長直下の教育研究組織に**海外から一線級教育研究ユニットを誘致**し、先端的国際共同研究により生み出される実績をもとに、新学院「**量子理工学院**」及び「**国際感染症学院**」を設置

東北大学

東北大学の強みである**スピントロニクス分野にシカゴ大学やミュンヘン工科大学等から世界トップクラスの研究者を招へいし、国際共同大学院**を構築

群馬大学

全学教員ポストを学長のリーダーシップで再配置可能な組織としたうえで、**重粒子線治療の強みを活かした総合腫瘍学等**に関する教育研究拠点を**海外研究機関から研究者を招へいし**て形成

筑波大学

国際的通用性のある**教育システム(学位プログラム制・日本版チューニング・企業や外国の大学との学位プログラムの実施)**を構築し、大学のグローバル化を推進

東京大学

東京大学のグローバル化を飛躍的に加速するため、世界から人材の集う「**知の拠点 国際高等研究所**」を形成し、**カリフォルニア大学バークレイ校等から世界レベルの研究者を招へい**し、最先端国際共同研究の成果を教育へ転用

東京医科歯科大学

海外拠点地域にある**チリ大学、チュラロンコン大学等とジョイントディグリーコース**を設置し、国際性豊かな医療人の養成を推進するとともに、世界競争力の強化及び**日本式医療技術の国際展開**に貢献

東京農工大学

「**グローバルイノベーション研究院**」の設置やグローバル教育制度(英語による教育や全学生の海外経験支援等)の創設により、**国際系グローバルイノベーション人材の養成を推進**

名古屋大学

四半世紀にわたるアジア法整備支援の蓄積を踏まえ、**アジア各国の大学の協力を得て、法学等のアジアキャンパス**を設置。各国の**専門家・政府高官に博士号を授与**する環境を整備

京都大学

工・理・医薬系の各分野トップレベルの研究者を**ハーバード大学やオックスフォード大学等から招へいし**、国際連携**スーパーグローバルコース(仮称)**を構築。大学院生への研究指導を通じて**世界と競う人材を育成**

京都工芸繊維大学

世界ランキング15位に選出された実績等を踏まえ、**建築・デザイン分野**で海外一線級の**スタンフォード大学等からの研究者を招へい**し**海外拠点整備**等により機能を強化

大阪大学

認知脳システム学や光子科学等について、**カリフォルニア工科大学やフランス国立科学センター**から世界トップクラスの研究者を招へいし、**国際的研究者が集う拠点**を形成

九州大学

国際コースの拡充や**新規採用教員の5年間英語講義提供**の必須化などの展開を見据えつつ、**欧米の大学(リーズ大学等)との連携**による「**国際教養学部(仮称)**」を設置

各分野における抜本的機能強化

秋田大学

鉱山学部の蓄積を活かした**国際資源学部**を中心に、**国内外の資源に関わる企業・政府機関等の多様な分野で活躍できる人材の養成**を行い、我が国の資源・エネルギー戦略に寄与。同時に教育文化学部、理工学部を含めた**全学的な組織再編**による人的資源を再配置

福島大学

福島の復興・再生・発展のために、環境放射能研究所を**環境放射能の動態と影響を解明する先端研究拠点**として機能を強化し、新たに5部門13研究分野を設置して研究機能及び研究拠点としての運営力を強化

一橋大学

学士課程プログラムの改革を推進し、新入生全員を対象とした短期語学留学を必修化するとともに、**チューニングによるカリキュラム調整などにより大学教育の国際的な互換基盤を整備**。学位の国際通用性向上を図ることによりスマートで強靱なグローバルリーダーを育成

東京工業大学

「**世界標準の教育**」を保證するため、**世界トップクラスの大学のカリキュラムに対応した教育システム**への転換を図る。MIT等の海外トップ大学から研究者等を招へいし、**世界の理工系人材の交流の拠点化**を推進

福井大学

教職大学院を**附属学校**に置き、大学ではなく**附属学校を拠点校として教師教育を展開**。拠点校に教職大学院の教員が向うき教育実践を行うことで、**福井県全8,000人の教員の資質向上**に寄与

長崎大学

世界トップレベルの**ロンドン大学等と連携した熱帯医学GH(グローバルヘルス)校**を創設。ケニア等の熱帯地域・開発途上国におけるフィールド研究を強化し、WHO等国際機関における**熱帯医学・グローバルヘルス専門家**を育成